

〔セプロス〕 設立趣旨書

世界最強の経済大国としてニッポンシステムがバブルに踊ったのは、わずか10年前のこと。現在、日本の政治・経済は、出口の見えない、混迷の極みに達しています。この経済第一主義のわが国の施策に対して、その失ったものを取り戻そうとNGOやNPOなど、人間が人間らしく生きる仕組みを作るための市民活動が、新しいうねりとして始まっています。

私たちのまち保谷には環境、福祉、教育、文化・芸術、人権、平和などのさまざまな分野で活動している市民や市民団体、ボランティア団体、NPOがあります。しかしながら、一方で市民同士が同じ地域で活動しながらお互いの存在を知らない、連帯が必要なのにきっかけづくりができない、問題が起こっても相談する場がない、他方で行政との関係がうまく行かないときが多いなど、必ずしも恵まれた環境にあるとは言えません。

さらに、2000年4月から実施される介護保険制度は、地域的事業の特色を持つと同時に、暮らしやすいまちのパロメーターにもなり、地方自治体として行政のみならず、地域住民による社会福祉活動等がいつそう重要になってきます。

私たちは、このまちに暮らす豊かな才能と優れた技能を持っている市民が、その能力を発揮できるような、参加しやすいシステムづくりと、個性的で専門的な各非営利団体の活動／運動に厚みとつながり、そして広がりを持てるような、コーディネート事業を主な目的とした「特定非営利活動法人保谷NPO推進センター〔セプロス〕」を設立します。また、市民が事業を作り出すための相談や支援、地域のNPOの育成と基盤強化、市民文化の形成と発展、市民主体の企業・行政とのパートナーシップづくりなどの事業を行います。

〔セプロス〕は新しい仕組みを作ることを使命とするNPOとして、幅広く地域や分野を越えた多くの市民や他の市民団体・NPOとともに豊かな市民財産を構築したいと思います。

1999年11月27日

特定非営利活動法人保谷NPO推進センター
理事長 浜 昱 子